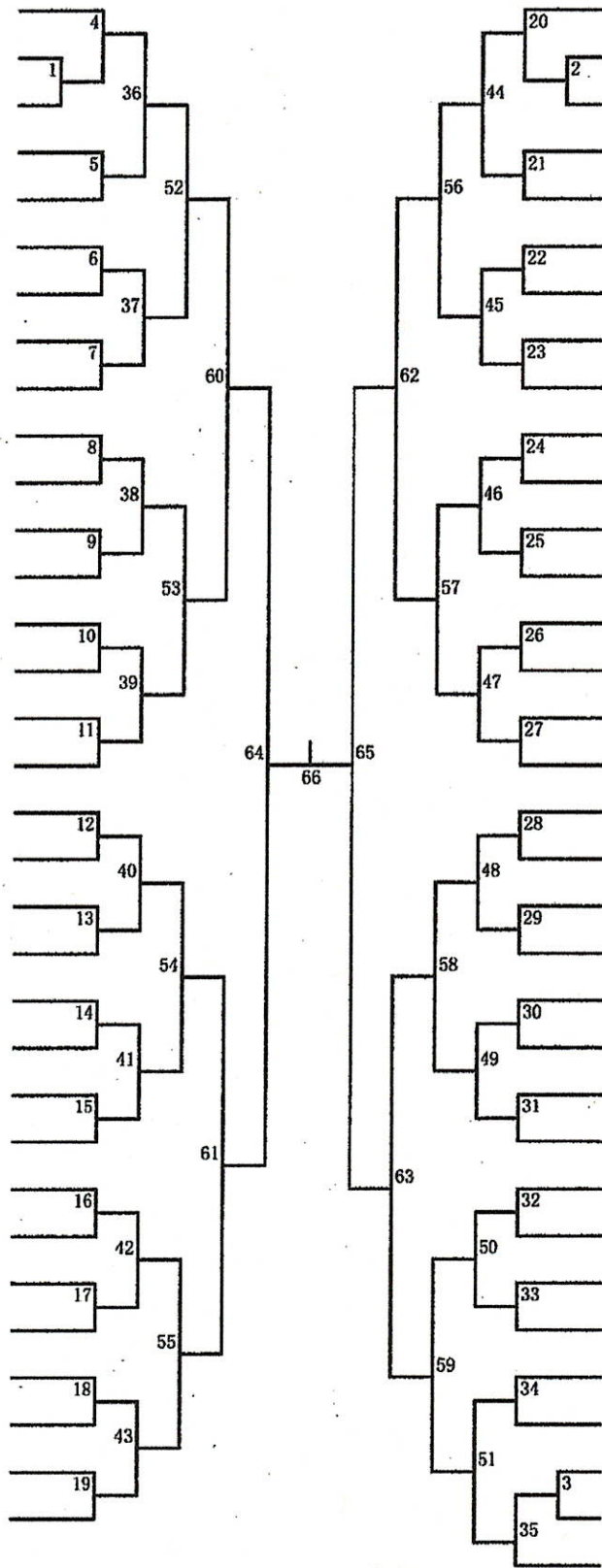


第66回全日本大学空手道選手権大会コートスケジュール

7:00	大会実行委員集合					
7:15	当日係員集合					
7:30	選手受付					
8:00	選手以外の部員受付					
8:00	審判会議					
8:25	監督会議					
8:30	一般入場開始					
9:00	開会式					
	Aコート	Bコート	Cコート	Dコート	Eコート	Fコート
9:20		女子形 第1ラウンド b1-b7	女子形 第1ラウンド c1-c7		男子形 第1ラウンド e1-e8	男子形 第1ラウンド f1-f8
10:05		女子形 第2ラウンド b8-b11	女子形 第2ラウンド c8-c11		男子形 第2ラウンド e9-e12	男子形 第2ラウンド f9-f12
10:20	マットレイアウト変更					
10:40	女子組手 1回戦-2回戦 A1-A14	男子組手 1回戦 B1-B9	男子組手 1回戦 C1-C8	女子組手 1回戦-2回戦 D1-D14	男子組手 1回戦 E1-E9	男子組手 1回戦 F1-F9
12:55	昼休み(マット消毒)					
13:40	MIT/Harvard Karate-do HUBチーム 紹介 および 交流試合					
14:20	女子組手 2~4回戦 A15-A26	男子組手 2~4回戦 B10-B16	男子組手 2~4回戦 C9-C15	女子組手 2~4回戦 D15-D26	男子組手 2~4回戦 E10-E16	男子組手 2~4回戦 F10-F16
16:20		女子組手 準決勝 B17	男子組手 準決勝 C16		女子組手 準決勝 E17	男子組手 準決勝 F17
16:55	女子形 決勝 A27					
17:10	男子形 決勝 A28					
17:30	女子組手 決勝 A29					
17:45	男子組手 決勝 A30					
18:15	表彰式					
18:35	閉会式					
18:40	撤収					

男子団体組手

- 1 近畿大学工学部 中四国
- 2 朝鮮大学校 関東
- 3 関西大学 関西
- 4 金沢工業大学 北信越
- 5 高崎商科大学 関東
- 6 千葉工業大学 理工系
- 7 西南学院大学 全九州
- 8 阪南大学 関西
- 9 東洋大学 関東
- 10 同志社大学 関西
- 11 中部大学 東海
- 12 拓殖大学 関東
- 13 東北福祉大学 東北
- 14 北海道科学大学 北海道
- 15 大正大学 関東
- 16 長崎国際大学 全九州
- 17 法政大学 関東
- 18 九州産業大学 全九州
- 19 東京理科大学 理工系
- 20 大阪商業大学 関西
- 21 慶応義塾大学 関東
- 22 大東文化大学 関東
- 23 人間環境大学 東海
- 24 大阪産業大学 関西
- 25 明治大学 関東
- 26 天理大学 関西
- 27 中部学院大学 東海
- 28 佐賀大学 全九州
- 29 一橋大学 関東
- 30 東北学院大学 東北
- 31 環太平洋大学 中四国
- 32 関西学院大学 関西
- 33 帝京大学 関東



- 近畿大学 関西 34
- 法政大学工体連 理工系 35
- 横浜国立大学 関東 36
- 宮崎産業経済大学 全九州 37
- 山梨学院大学 関東 38
- 広島修道大学 中四国 39
- 芦屋大学 関西 40
- 名古屋大学 東海 41
- 国士舘大学 関東 42
- 大阪経済法科大学 関西 43
- 日本大学 関東 44
- 東海大学 関東 45
- 福井工業大学 北信越 46
- 沖繩国際大学 全九州 47
- 大阪体育大学 関西 48
- 札幌大学 北海道 49
- 国際武道大学 関東 50
- 大阪工業大学 関西 51
- 明海大学 関東 52
- 早稲田大学 関東 53
- 中京大学 東海 54
- 北海道大学 北海道 55
- 沖繩大学 全九州 56
- 山口大学 中四国 57
- 日本体育大学 関東 58
- 京都大学 関西 59
- 弘前大学 東北 60
- 立教大学 関東 61
- 中京学院大学 東海 62
- 佛教大学 関西 63
- 青山学院大学 関東 64
- 福岡大学 全九州 65
- 新潟大学 北信越 66
- 駒澤大学 関東 67

全日本学生空手道連盟
理事長 松倉 崇重

女子団体組手

1 京都産業大学 関西	25	33	近畿大学 関西	29
2 千葉工業大学 理工系	1	13	東北福祉大学 東北	30
3 日本体育大学 関東	41	45	東京大学 関東	31
4 九州産業大学 全九州	2	14	山梨学院大学 関東	32
5 東洋大学 関東	26	34	立命館大学 関西	33
6 朝鮮大学校 関東	3	15	福岡大学 全九州	34
7 愛知学院大学 東海	49	51	広島経済大学 中四国	35
8 青山学院大学 関東	4	16	新潟大学 北信越	36
9 大阪大学 関西	27	35	東京都市大学 関東	37
10 日本大学 関東	5	17	明海大学 関東	38
11 宮崎商経科大学 全九州	42	46	中京大学 東海	39
12 関西学院大学 関西	6	18	関西大学 関西	40
13 川崎国民体育大学 中四国	28	36	福岡教育大学 全九州	41
14 鹿島学園大学 関東	53	54	駒澤大学 関東	42
15 同志社大学 関西	29	55	天理大学 関西	43
16 長崎国際大学 全九州	7	37	愛知大学 東海	44
17 東海大学 関東	43	19	拓殖大学 関東	45
18 山口大学 中四国	8	20	早稲田大学 関東	46
19 防衛大学校 関東	30	38	東北学院大学 東北	47
20 中部学院大学 東海	9	21	琉球大学 全九州	48
21 国際武道大学 関東	50	52	法政大学 関東	49
22 阪南大学 関西	10	22	大阪産業大学 関西	50
23 東北大学 東北	31	39	大東文化大学 関東	51
24 北海道科学大学 北海道	11	23	中京学院大学 東海	52
25 明治学院大学 関東	44	48	国士舘大学 関東	53
26 西南学院大学 全九州	12	24	北海道大学 北海道	54
27 大阪体育大学 関西	32	40	佛教大学 関西	55
28 立教大学 関東			帝京大学 関東	56

全日本学生空手道連盟
理事長 松倉 栄稔

第66回全日本大学空手道選手権大会

11月20日

日本武道館

男子団体形

GROUP1

- 1 慶応義塾大学 関東
- 2 福岡大学 全九州
- 3 中部学院大学 東海
- 4 天理大学 関西
- 5 山梨学院大学 関東
- 6 阪南大学 関西
- 7 大正大学 関東
- 8 東北学院大学 東北

GROUP2

- 9 青山学院大学 関東
- 10 沖縄大学 全九州
- 11 同志社大学 関西
- 12 千葉工業大学 理工系
- 13 帝京大学 関東
- 14 広島修道大学 中四国
- 15 中京学院大学 東海
- 16 国士舘大学 関東

全日本学生空手道連盟
理事長 松倉 栄喜

第66回全日本大学空手道選手権大会

11月20日

日本武道館

女子団体形

GROUP1

- 1 千葉工業大学 理工系
- 2 中部学院大学 東海
- 3 帝京大学 関東
- 4 国土館大学 関東
- 5 阪南大学 関西
- 6 山梨学院大学 関東
- 7 沖縄大学 全九州

GROUP2

- | | |
|------------|----|
| 関西大学 関西 | 8 |
| 駒澤大学 関東 | 9 |
| 人間環境大学 東海 | 10 |
| 慶応義塾大学 関東 | 11 |
| 東洋大学 関東 | 12 |
| 長崎国際大学 全九州 | 13 |
| 同志社大学 関西 | 14 |

全日本学生空手道連盟
理事長 松倉 栄重

開催日 令和4年11月20日

第66回全日本大学空手道選手権大会【監督会議】確認事項・取決め事項

大会審判長 野 崎 宏

1 選手の服装・安全具・禁止事項・コロナ対応について

- (1) ゼッケンは指が入らないよう四辺全て確実に縫い付ける事(飛び縫いは不可)。
ゼッケンの無い選手は出場出来ない。
- (2) 選手の安全具、服装及び髪型・色は大会要項 14 番・a～f の通りとする。
※拳銃・ターは学空連マーク付きヒロタ・東海堂・守礼堂の3社製のものに限る。
(WKFタイプを使用する場合は、JKF公認マークと学空連マークの付いたものに限り可)
※マウスピース(無色透明のみ)は奥歯まできちんとはまる物でなくてはならない。
《マウスピースが変造と判断された時点で『棄権』とする》
※審判団が髪の毛について長すぎる、不潔ある、あるいは色が不自然であると判断した場合『棄権』とする場合がある。
◎『棄権』となった選手はその後の同種目試合には出場出来ない。
- (3) ネイルは禁止とする。
- (4) 空手着の腰紐は結ぶ。 **(初戦からの紐なし空手衣は出場出来ない)**
- (5) 女子選手は、空手衣の下に白無地のTシャツを着用しなければならない。
- (6) 選手は競技中マスクを外してもよい。但し、使用する場合はヒロタ製のマスクを着用。
- (7) **試合毎に ID カードを忘れずに試合コートまで持ってくる。**
- (8) マスクは必須・大声を出しての応援は禁止。《拍手はOK》

2 形競技について《形競技方法：別紙：詳細図説明あり》

- ◆第2ラウンドへは、男女共に各グループの上位4チームが進む。
《第2ラウンドの演武順番は、監督立会いのもと自動抽選で行う》
- ◆3位決定戦は行わない。〈第2ラウンドの各グループ2位が第3位となる〉
- ◆決勝戦は分解を行う。〈形演武と分解をあわせて5分間以内とする〉

3 組手競技内容・取決め事項について《2022年度改正ルール(運用追加含)で行う》

- (1) 競技時間は男子・女子ともに、1分30秒間フルタイム6ポイント差。
ただし、準決勝戦・決勝戦は2分間フルタイム8ポイント差。
■両チーム初戦及び片方が初戦となる試合は勝敗が決まっても最後まで行う。
※整列は監督席に近い方から監督・先鋒・次鋒・中堅・副将・大将の順に並ぶ
※チームメンバーが規定数より少ない場合、オーダーは前詰めとする。
※試合開始の礼後は、先鋒以外用意した椅子で待機。次の選手以外は座って待つ。
- (2) 6ポイント差試合は、大将戦前に9ポイント差がついている場合は試合終了。
8ポイント差試合は、大将戦前に11ポイント差がついている場合は試合終了。
- (3) サポーター・テーピングは白又はベージュで柔らかい布製に限る。
- (4) 10カウント以外で反則負け(カテゴリー1)をした選手は左腕に青テープ、反則勝ちをした選手は左腕に赤テープを巻付ける。2回同じテープを巻付けられた選手は、その後の試合には出場出来ない。またドクターストップと判断された場合その後の同種目試合には出場することは出来ない。
- (5) 10カウントが成立した試合で負けた選手はチームが勝ち進んでも出場出来ない。

- (6) 主審がポイントをコールし「続けて始め」の後に出血した場合、ドクターの治療を受け試合を再開する。(ウォーニング又はペナルティは与えない)

4 異議申し立ての対応について

審判員の判定が競技規定に違反していると思われる場合『登録監督』のみが挙手により異議申し立てが出来る。対応はコート主任が行う。

当該競技終了後の異議申し立ては、如何なる理由があろうと一切認められない。

※異議申し立ては次の選手の名前が呼ばれるまでとし、最後の選手の場合には副審が集合するまでとする。

監督席についてない試合は異議申し立てを一切出来ない。

5 監督に関わる事項について

- (1) 監督1名で男女の試合が重複した場合、試合途中での移動は認めない。

移動するには、現在監督席についている回戦試合が全て終わってからとする。

そして、重複したもう一方の監督席につけるタイミングは、その対戦中の試合終了後とする。監督からこの要望があった場合、コート主任が了承し席につかせる。

- (2) 監督が「退場」となった場合、その回戦試合は監督無しで行い異議申し立ては不可。

例：1回目先鋒戦で忠告・2回目中堅戦で退場、その回戦試合は監督にはつけない。

■監督席に座る時は、白の不織布マスクを着用する。

- (1) 監督席に座れるのはIDカードを首にさげた登録監督のみ。

※服装は大会要項14番・jの通りとする。<スカートは不可>

- (2) 監督はルール違反があった時、挙手しコート主任へ申し出る。

《その他は静かに試合を見守る》

学連大会、マナーの徹底について

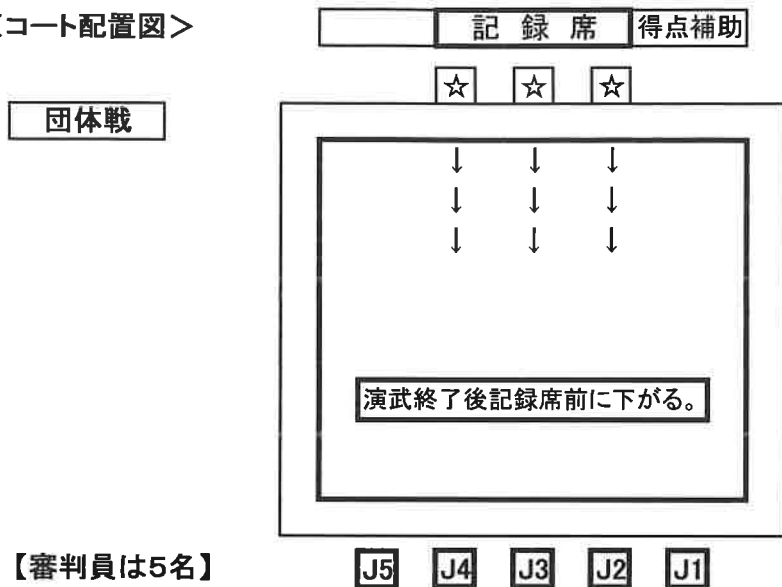
- 1) 最初と最後に、コート外とコート内で相手に合わせて礼をする。(計4回)
- 2) コートへはコンタクトレンズの予備及びタオル以外は持ち込まない。
- 3) マウスピースはコートに入る前からコートから出るまで装着しておく。
- 4) コートで円陣を組まない。また立って次の選手を激励する行為は行わない。
- 5) コート内で相手との拳サポータータッチ禁止、握手・ハグ行為は行わない。
- 6) 肩より上のガッツポーズは禁止。<ひどい場合は得点技が取り消される>
- 7) 得点技が決まった時、ポイントコール、勝ち名乗り時の『雄叫び』は行わない。
- 8) 当たった(C1)選手は相手に頭を下げる。<C2は何もしない>
- 9) 閉会式にも出来る限り全出場選手が参加するよう努力する。

<審判・監督会議共通:大会取決め事項>

形競技方法

※選手の試合開始、終了時の全体の礼は『マスク着用』で記録席前に整列して行う。

<コート配置図>



【演武はマスク無しで行っても良い】

- ・第1ラウンド・第2ラウンド共に Aグループが赤/Bグループが青 《第2ラウンドの演武順は抽選》
 - ・3位決定戦は行わない。
 - ・決勝戦:両者の高い得点者が青帯 低い得点者が赤帯。演武は赤から行う
- 同じ得点時はジャンケン:勝=青・負=赤
 <<決勝戦は分解を行う>>
 形演武と分解合わせて5分以内

【審判員は5名】

<得点>

- ・第1ラウンド:6.0基準(5.0~7.0)0.1刻み【第1・2指定型】JKF指定形リストより選ぶ
- ・第2ラウンド:7.0基準(6.0~8.0)0.1刻み【得意形】JKF得意形リストより選ぶ
- ・決勝戦:9.0基準(8.0~10.0)0.1刻み【得意形】JKF得意形リストより選ぶ

◎審判(5名)は演武終了次第タブレットに得点を入れる。

《技術点と競技点とは分けず合わせた得点(0.1刻み)》

※第1第2ラウンドの通過チームは電光掲示板に表示されますのでJ1が発表する。

※決勝戦はJ1が選手側に行き勝者チームに勝ちを宣告する<合計得点はその後に表示する>

- ◆5名の審判が得点を表示した中で、最高点、最低点を除外し、残る3名の合計点が得点となる。
 - ◆同点の場合、3名の得点の中で最低点を比べ高い方が勝ち、それも同じ場合は最高点を比べ高い方が勝ちとなる。それでも同点になった場合は再度異なる形で再試合を行う。
- ※形は第1ラウンドは第1・2指定形の中から、第2ラウンド以降は得意形の中から選ぶ。<再試合時も同様>
- ◆1度使用した形は使えない。但し、同点再演武で使用した形は再度演武出来る。

第1ラウンド

Aグループが赤
Bグループが青

Aグループ(4チーム選出)

1位	第2ラウンドへ
2位	第2ラウンドへ
3位	第2ラウンドへ
4位	第2ラウンドへ
5位	敗退
6位	敗退
7位	敗退
8位	敗退

Bグループ(4チーム選出)

1位	第2ラウンドへ
2位	第2ラウンドへ
3位	第2ラウンドへ
4位	第2ラウンドへ
5位	敗退
6位	敗退
7位	敗退
8位	敗退

◎第2ラウンドの演武順番は、監督立会いのもと自動抽選で行う。

第2ラウンド

Aグループが赤
Bグループが青

Aグループ(1チーム選出)

1位	決勝戦へ
2位	第3位決定
3位	敗退
4位	敗退

Bグループ(1チーム選出)

1位	決勝戦へ
2位	第3位決定
3位	敗退
4位	敗退

■3位戦は行わない。【Aグループ・Bグループの2位が第3位(2チーム)となる】

決勝戦

第2ラウンドで

得点の高いチームが青帯
得点の低いチームが赤帯

Aの1位 — Bの1位

☆優勝・準優勝が決定